



たちほらせいいちろう

立原清一郎（番方若同心→隠密廻り）、美琴（妹）

しんざえもん

新左衛門（亡き父 定町廻り同心） — 千代（亡き妻）

ふるしち

古七（小者）、お米（下女）

でんぞう

伝蔵（御用聞き）

いじゅうろう

松田伊十郎（作事方普請同心）、三郎太（三男）、早苗（娘）

さぶろうた

さなえ

ひいらぎ

ゆずり

柊 東十郎（定町廻り同心）、柚里（娘）

きね

はなえ

杵屋（小間物問屋）、花江（娘）

こうのともしん

うぶかた

河野友野進（清一郎の生方道場同輩）

かがのかみうじのり

岩瀬加賀守氏記（南町奉行）

かめ えもん

信藤亀右衛門（南町年番方与力）

きちのすけ

町田吉之助（南町隠密廻り同心→用部屋手付同心）

さえぐさけん のすけ

三枝健之助（南町同心）

きさづかごんいちろう

笹塚権一郎（南町定町廻り同心）

たかずみ

ちえ

西田順之助（高積見廻り同心）、千枝（娘）

おしだ

忍田雄一郎（養生所見廻り同心）、孫三郎（三男）

かまた

鎌田助左衛門（信州の藩士）、文（亡き娘）

うぶかた

生方道場（鏡新明智流）

そえだ

添田道場（中西派一刀流）

はなのやそうべえ

花野屋惣兵衛（扇屋） — おくめ（女房）

さきち

しんきち

うしまつ

佐吉（番頭）、伸吉（手代）、丑松（手代）

おたけ（女中頭）、おまつ、おのぶ、おうめ、おそめ

ぶん えもん

文右衛門（口入屋）

つくよみてい

月読亭（料理屋）、おすね（女中頭）、お豊（女中）

ふるかわや

古河屋（口入屋）

かすみ

霞の長兵衛

まむし

ごんばち

ごろつき

蝮の久兵衛（島帰り）、権八（破落戸）

べんごろう

七化けの弁五郎（凶状持ち）

ぬえ まちぞう

しまじろう

みのじ

かまさぶろう

ごすけ

かついち

もろぞう

鶴の町蔵（盗賊）、島次郎、蓑次、鎌三郎、五助、勝一、師造